



令和8年3月2日（第11号）

ぼくも、わたしも、子ども防災リーダーだ！

2月19日（木）下校時避難訓練をしました。「サイレンの音をしっかりと聞いて、おちついて、ひなんすることができました。ほんとうにじしんがきたときにそなえて、さんぽをしながら、みちを1かい、かくにんしたいです。」これは徒歩で帰る1年生の感想です。

「アラートの音が鳴ったら、『頭下げて』と声をかけた後、運転手の山田さんの話をよく聞いて、落ち着いて避難場所まで行くことができました。避難するとき、がけに鉄でできた網が広がってあったけど、石がゆれて落ちてきそうなので、車も山も道も見ながら避難します。」これは、木岐にスクールバスで帰る6年生の感想です。自分で考え、判断して、行動していると感心しました。由岐小学校の子どもたちは、自分の命を守るために発達段階に応じて防災学習を積み重ね、避難訓練や大学の先生の出前授業、地域の方との防災キャンプなどを通して防災意識を高め、行動力を身に付けています。来年度も防災教育を推進してまいりますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

徳島県南部圏域防災・事前復興発表会

2月9日（月）、徳島県南部圏域防災・事前復興発表会が旧牟岐小学校の体育館で開催されました。本校は5・6年生が参加しました。「美波町由岐の宝物を津波から守ろう！」というテーマで発表しました。内容は、生成AIを使ってふるさとデジタルマップをつくったことや、愛媛大学の多田先生とジオラマを使って学習したこと、災害に備えるために自分たちが考えたことです。①高台移転構想、②陸閘（りっこう）・自動フラップゲート建築、③地域との絆を深める避難訓練や避難経路の掃除など一人一人がしっかりと発表できました。自分の言葉で考えを伝えられたことをコメンテーターの井若先生が褒めてくださいました。牟岐・橘・椿・海南・穴喰・由岐小学校の子どもたちが発表し合ったり、ワークショップをしたりできたことは、今後防災に取り組む原動力になると思いました。



「徳島県まなぼうさい特別賞」受賞

R6年度は、「徳島県まなぼうさい活動賞」
今年度は、長年の地域ぐるみの防災学習が評価され、
「徳島県まなぼうさい特別賞」をいただきました。

県防災センターにて



体験入学



2月6日(金)体験入学がありました。3名の由岐こども園の年長さんが、由岐小学校に来てくれました。1年生は、お買い物ごっこで楽しめるように素敵なお店を準備して、「いらっしゃい、いらっしゃい。」と元気よく呼びかけ、上手に接客ができました。また、昔の遊びを一緒に楽しんだり、学校探検をしたりしました。4月の入学式が待ち遠しいですね。この日はテレビとくしまの取材があって「スクールゴーゴー」という番組で放映されました。

(YouTubeでも視聴できます。)

伊座利小学校との交流(食育)

2月13日(金)全校児童で伊座利小学校へ行きました。ピザづくりをしました。生地をのぼし、野菜やチーズをトッピングし、ピザ窯で焼きました。ピザはほっぺたが落ちるくらいのおいしさでした。おにぎりを作ったり、マシュマロを串にさして焼いたり楽しい交流会でした。伊座利小学校の先生方、保護者の富田さん、ありがとうございました。



児童会引き継ぎ



卒業にあたって

- 川西美桜奈さん…私は、六年生になってすぐは、不安ばかりで、きんちょうしていました。でも、同じクラスの六年生や、一、二、三、四、五年生が支えてくれたので、とてもがんばれました。先生方、一、二、三、四、五年生のみなさん、これまでたくさん支えてくれてありがとうございました！これからもがんばります！
- 中倉 渚月さん…私は、運動会の練習の間が心に残っています。みんなが「もっとこうしたら」とか三～五年生がたくさん発表してくれるのはもちろん、一、二年生は自分の思いを伝えてくれてうれしかったです。練習の間も苦しくなかったし楽しくできたからです。由岐小学校で学んだことを生かしてがんばります。
- 松浦 耕太さん…思い出は、みんなと楽しく遊んだときに一～四年生を守ったことです。一～五年生は、次の学年でも、最後まであきらめず協力してください。
- 松浦 祐太さん…五、六年生で運動会にむけての準備をがんばれました。何でも無理だと思わずに、挑戦しよう。